

ライフセーバーについて

皆さんはライフセーバーについてどれ程ご存知でしょうか？

プールや海水浴場で監視員をしている人、だとかテレビで人工呼吸や心臓マッサージをしているの見たことがある、とかでしょうか

国内でライフセーバーを育成している団体は2つあります。その1つはJLA(日本ライフセービング協会)。もう1つはLSO(ライフセービング機構)になります。

では、もう少し詳しく説明していきます。

まずはJLAですが、こちらは水難救助を主な目的とした団体となります、ライセンス取得の為にJLA主催の講習会を受講する必要があります、学科講習は共通なんですけど実技講習はプールと海水浴場に分かれて講習を受けることになります、理由はプールでの救命活動と海水浴場での救命活動では必要なスキルが大きく違うそうなのでそれも仕方ないのかなと思います。



JLAホームページより

そして、もう1つの団体 LSOですが、こちらはモータースポーツでの救命活動を主な目的とした団体となります、ですからライセンス取得の為に講習会もLSOの出先として国際格式の各サーキットで行われていて学科講習、実技講習合わせて1日受講する事になります、

けれどもモータースポーツでの救命活動を掲げてはいますが、実際の講習内容は交通事故関連の対応が多いのも事実ですが怪我や病気の初期対応にも多くの時間を取ってあるので普通の生活の中でも十分に

意味のある内容だと思います。

そして、ライセンスの有効期限ですが、2年間で終わり、それを過ぎれば失効しますLSOに書類を出せば更新されるシステムはありません。2年を過ぎれば新たに受講する必要が有ります



LSO ホームページ Extrication Basic プログラムより

これについては以前理由を聞いたことがあるんですが、世界中から常に救命活動の成功例と失敗例の情報が更新され続けている、だから2年に1回は受講して最新の情報を知って貰う為です。と言われました、これはJLAでもLSOでも同じ事を言っている様です。

実際に小さな変更点も数えると4~5年ごとに内容が変わっている様に思います。

最近の変更は、2年前に【銃創の処置】が新たに追加された事でしょうか、これって日本でも必要なの？とは思いましたが、これが世界の流れ、だそうです。

と、色々書きましたが少しは興味を持ってもらえたでしょうか。